

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

一般社団法人 アクティブ ケア アンド サポート

②施設・事業所情報

名称： ヴィラ東戸塚こども園	種別： 認可保育所
代表者氏名： 園長 田中里沙	定員（利用人数）： 70（76）名
所在地： 神奈川県横浜市戸塚区平戸町738-1	
TEL： 045-382-9922	http://kodomonomori.co.jp/ht/
<p>【施設・事業所の概要】 保育園は2020年4月に開園し、東戸塚駅から徒歩6分程度の住宅地に立地しています。新築園舎で、園庭があります。</p> <p>株式会社「子どもの森」のグループ園です。「自分の子どもを入れたい園をつくる」という法人の理念のもとに運営しています。子どもにとり、安心できる「第2のお家」であることを大切にしています。</p> <p>乳児期は自分の欲求が満たされ情緒の安定が図れるよう、信頼関係を築いていきます。</p> <p>幼児期は、友達との遊びの中で自分らしさを見つけ、周りの人と共に育ち合っていく時期です。子どもの健やかな成長のためには、家庭と園が相互に信頼し合い、同じ方向性をもって子どもと接していくことが大切とし、保護者にとっても使いやすく、子育ての支えになる存在であることを目指しています。</p>	
開設年月日 2020年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）： 保育士	
職員数	常勤職員： 13名 非常勤職員： 7名
専門職員	（専門職の名称） 名
	保育士 13名
	栄養士 1名
施設・設備の概要	（居室数）
	（設備等）
	乳児室2、保育室4、事務室兼医務室1、調理室1
	空調設備、厨房設備、トイレ、エントランス、園庭、避難階段

③理念・基本方針

～すべては子どもたちのために～

一人ひとりを大切にされていると実感される保育をします。

保育理念 子どもが健康・安全で情緒の安定した生活を送る中でそれぞれの発達にふさわしい経験を通して心と体のバランスのとれた成長を目指す。

保育目標

心も体も健やかで歩く元気な子

保育方針

- ・友達と仲良くできる子
- ・何でも自分でしようとする子
- ・基本的な生活習慣を身に着け、健やかな成長を目指します。
- ・遊びや生活を通して他人を思いやる優しい心を育みます。
- ・身近な自然と社会とのかかわりを通して豊かな人間性を育みます。
- ・見守る部分を意識的に行い、考える力の基礎を培い、より良く問題解決をする力を育てます。
- ・子どもたちが安心して過ごせる家庭的な雰囲気の中で、のびのびとした成長を促します。

④ 施設・事業所の特徴的な取組

1. 子どもが自由に考えやってみたいことが実現できる環境づくりを目指しています。子どもだけで生活や遊びができ、危険な時だけ保育士が制止する環境です。そうした環境を作り出すため、玩具の使いやすさ、片付けやすさ、掃除の環境づくり、異年齢の関わり方などに配慮した保育を行っています。
2. 園庭を生かしています。登園後と降園前の異年齢での遊び、園庭での体力づくり、梅雨期の戸外活動、プール活動、野菜の栽培などに有効に活用しています。
3. 栄養士と保育士が連携した食育活動を0歳児から実施しています。子どもの成長を考慮した給食を提供しています。
4. 保護者支援として連絡帳に代えて、情報端末と保育アプリで保育内容の情報共有と併せ連絡帳機能に生かしています。オムツサービスの提供で保護者の持ち帰り負担を軽減しています。保育参観はいつでも可能です。
5. 若い職員が多いことから研修の積極的な参加によって保育力の向上を図り、チームワークのよい環境を作っています。

⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	2022年7月1日（契約日） ～ 2023年1月23日（評価結果確日）
受審回数（前回の受審時期）	1回（初回）

◎総評

◇特長

・分かりやすいパンフレットを作成し、写真などを活用して園の特徴を紹介しています

保育理念・目標、保育方針を分かりやすい言葉で伝え、写真とカラフルなイラストで楽しく読めるパンフレットを作成しています。跳び箱を飛ぶ子どもの後ろ姿を大きくとらえた写真からしっかりした体作りのイメージが浮かんできます。「保護者に、持ち物の少なさ、地域NO1」とアピールし、負担の軽減を強調しています。食育や畑活動、体操教室、英語教室、造形教室など保護者のニーズを的確にとらえ、保育に反映させていることが分かります。園の保育をA4サイズ1枚のパンフレットに収め、利用希望者が知りたいことを分かりやすく伝えています。

・保育アプリを使った個別支援と集団としての保護者支援を充実させています

「保護者の声に耳を傾け、子育てのサポート、保護者の心に寄り添った対応をする」を実践しています。保護者の希望や負担は個々に異なり、一人一人のニーズに寄り添う支援を行っています。集団としては、持ち物の軽減、懇談会・行事や延長保育に配慮しています。保育アプリで、連絡帳、お知らせ、各種計画を、保護者がいつでもどこでも読み確認できるようにし、直接的な口頭説明に加え細やかな情報伝達に努めています。

■子どもたちが主体的に活動できるよう環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにしています

毎日のカリキュラムの中で園では特色のある活動と保育を合わせています。食育活動・畑の活動・体操教室・英語教室・造形教室・リトミックなど子どもが笑顔になる活動を取り入れています。体操教室でマットや鉄棒、跳び箱や毎朝8分間走など元気な体をつくっています。英語教室でゲームやカードを使い、保護者の希望で今年度から2歳児にも英語教室を開きました。

・保護者の意見を踏まえた職員の自己評価から異年齢保育の充実や職員の研修を強化しています

保護者アンケートや運営委員会での保護者の意見などを踏まえ職員全体で園の自己評価を実施し、結果を園内に掲示しています。改善策に取り組み、新型コロナ禍の影響で少なくなっていた異年齢保育の時間を増やしています。また、職員の研修機会を増やし、目標を立てて研修に参加し研修後園内で他職員と共有化を図り、保育技術の向上に向けて取り組んでいます。

◇今後期待される点

・PDCAサイクルを明確にした中長期計画の策定が期待されます

園の運営理念、園の基本方針、園の保育目標を示し、3年後、5年後、10年後の目標を示した中長期計画を策定しています。目標設定と行動計画を示していますが、計画の実効性・有効性の観点から、課題を明確にし、それに対する取り組み方法を明示することが必要ではないか、課題の設定から、実施（内容・体制・期間・予算）、検証・評価、反映まで、PDCAの取り組みを明確にした計画の策定が期待されます。

・地域とのつながりで、小学校への就学や地域に開かれた事業などさらなる工夫が期待されます

小学校との連携で幼児期にふさわしい生活を通して、創造的な思考や主体的な生活態度など基礎を養う、「幼児期の終わりまでに育てほしい姿」を連携事業を通して共有し小学校教諭との円滑な接続に努めるとしています。幼保小教育交流事業で、新1年生の交流事業が予定されています。これまで新型コロナ渦で叶いませんでしたが、小学校生活の見学や体験などの交流を重ね、小学校生活に期待を持って保育園生活を送れることが望まれます。今後、地域に根差す保育園という観点から、在宅家庭の親子との交流や相談、地域住民との交流などさらに開かれた事業が期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

初めて第三者評価を受審し、日頃行っている取り組みを振り返る機会となり、改めて自分たちの目指す保育や運営を考える良い機会となりました。

保護者の皆様にもご協力頂き、多くの方から良い評価を頂きました。その中でも、ご意見いただきました事項もございました。今後も些細なお言葉にも耳を傾け、地域の中で愛される園を目指して参ります。

今後のビジョンを見直します。助言いただきましたように、明確なビジョンへと改善をすることで、継続的な保育園運営を目指します。

開園してすぐに新型コロナウイルスに悩まされ、実現できなかった行事等も少しずつ変化させながら、今後も子どもたちの自立・自律を目指し、自己肯定感の高い子どもたちへと成長できる手助けをしていきたい、そして共働きであっても子育てを十分に楽しみ、お子様の成長を喜び合える密なコミュニケーションを大切に参ります。

頂いた評価を自信、改善に繋げさせて頂きます。ありがとうございました。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり